会場 | いしかわ総合スポーツセンター・サブアリーナ
住所：金沢市稚日野町北 222

バス | 金沢駅より済生会病院または下安原行き、「総合スポーツセンター前」下車。
※当日北鉄金沢バスによる臨時バスの準備あり

車 | 金沢駅金沢港口から車で約20分　※駐車場あり

参加費 | 2,000円・要事前申込　※11/24～26・3日間共通券は5,000円

エリア地図

場内図

会議傍聴席の参加申込は
http://takagamine.jp/event/5850
（鷹峯公式 Webサイト特設ページにて）

お問い合わせ
「100年後に残る工芸のために」普及啓発実行委員会
オールジャパン工芸連携 京都／東京／金沢実行委員会
事務局：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン　担当：岩関／藤本
〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館3階
TEL：03-3573-3339　FAX：03-3573-3315　Mail：info@thecreationofjapan.or.jp

21世紀鷹峯フォーラム
21st Century Takagamine Forum
第3回
石川／金沢
Ishikawa　Kanazawa

第2回円卓会議（2017年1月29日）の様子

日本の工芸の未来をつくる
各界リーダーズ＆工芸有識者 円卓会議

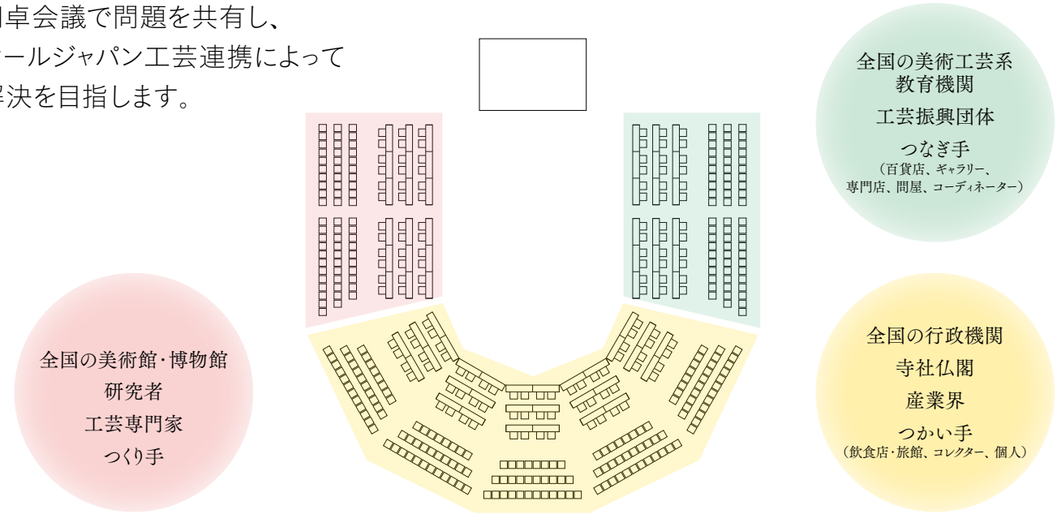
円卓会議
100年後に残る工芸のために
「工芸と観光」国際会議

2017年11月26日（日）
いしかわ総合スポーツセンター・サブアリーナ

主催：100年後の工芸のために普及啓発実行委員会（石川・金沢）［構成団体：石川県立美術館　石川県立伝統産業工芸館　金沢21世紀美術館　金沢美術工芸大学　金沢学院大学　金沢卯辰山工芸工房　公財）石川県デザインセンター　石川県伝統産業振興協議会　一社）金沢クラフトビジネス創造機構　北國新聞社　認定NPO法人 趣都金澤　一社）ザ・クリエイション・オブ・ジャパン］　オールジャパン工芸連携京都 / 東京 / 石川金沢 実行委員会

助成：石川県　金沢市　平成29年度コンベンション誘致推進事業補助金　公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド／**特別協力**：北國新聞社／**協力**：金沢東急ホテル／**後援**：経済産業省　観光庁　JETRO　JNTO［日本政府観光局］日本デザイン振興会　石川県　金沢市　七尾市　小松市　輪島市　珠洲市　加賀市　能美市　金沢商工会議所　一社）金沢経済同友会　金沢コンベンションビューロー　朝日新聞社　読売新聞社　NHK（金沢放送局）　石川テレビ放送 ほか／**協賛**：大日本印刷（株）湖山医療福祉グループ　三菱地所（株）（株）日建設計　（株）資生堂／**連携事業開催機関**：石川県立美術館　石川県立伝統産業工芸館　金沢21世紀美術館［公財）金沢芸術創造財団］　金沢美術工芸大学　金沢学院大学　金沢卯辰山工芸工房［公財）金沢芸術創造財団］　公財）石川県デザインセンター　石川県伝統産業振興協議会　一社）金沢クラフトビジネス創造機構　北國新聞社　大樋美術館・大樋長左衛門窯　認定NPO法人 趣都金澤　金沢創造都市推進委員会　KOGEI Art Fair Kanazawa　実行委員会　一社）ザ・クリエイション・オブ・ジャパン　JETRO　石川県　金沢市　石川県文化財保存修復工房　石川県立歴史博物館　石川県九谷焼美術館　石川県七尾美術館［公財）七尾美術財団］　石川県能登島ガラス美術館［公財）七尾美術財団］　石川県輪島漆芸美術館　金沢市立中村記念美術館［公財）金沢文化振興財団］　金沢市立安江金箔工芸館［公財）金沢文化振興財団］　金沢市民芸術村 アート工房［公財）金沢芸術創造財団］　金沢湯涌創作の森［公財）金沢芸術創造財団］　小松市立博物館　小松市立錦窯展示館　小松市立本陣記念美術館　能美市九谷焼資料館　石川県九谷焼技術研修所　石川県立山中漆器産業技術センター・石川県挽物轆轤技術研修所［公財）山中漆器産業技術センター］　石川県立輪島漆芸技術研修所　加賀友禅技術振興研究所　加賀友禅会館［協同組合加賀染振興協会］　宗桂会館［公財）宗桂会］　加賀伝統工芸村 ゆのくにの森　金沢市工芸協会　一財）石川県芸術文化協会　一社）芸術支援・地方創造機構　金沢漆芸会　第64回日本伝統工芸展金沢展実行委員会　公社）日本工芸会石川支部　台湾・金沢現代織物芸術交流展開催委員会　大和香林坊店［（株）大和］　漆光会　めいてつ・エムザ［（株）金沢名鉄丸越百貨店］　ArtShop 月映　（株）A.SPACE　金沢九谷ミュウジアム［九谷焼窯元　鏑木商舗］　KANAZAWA LIFESTYLESHOP COMMUNITY（KLC）　金属工芸　加澤美照工房　九谷焼 春日山窯 木米庵［九谷焼窯元 鏑木商舗］　セレクトショップ GIO　（株）谷庄　（株）能作　箔座（株）

円卓会議で問題を共有し、
オールジャパン工芸連携によって
解決を目指します。



2015年 京都提言

「よき使い手・よき鑑賞者」を社会全体で創出してゆくため連携の呼びかけ、ものづくりに欠かせない素材と道具を支えてゆくためのシステム構築づくり、問題解決のための工芸連携の提言を行いました。

2016年 東京提言

「日本工芸週間」の制定、外国語対応の促進、廃業した方々のもっている素材と道具を次世代につなぐための取り組み、よいつかい手と鑑賞者を増やすための教育や場づくりの働きかけの提言を行いました。

2017年 石川・金沢

テーマは「工芸と観光、いかに工芸を伝えるか」

「工芸と観光」を結びつけると生じる、
地域やつくり手の現場で困っていること

・外国語対応力の不足・難解な技術や歴史の説明
・カード決済・荷物の発送業務の未対応
・飲食店・宿泊施設の不足
・工房訪問による作業の停滞

▼

全国の主要な工芸産地を持つ都道府県及び市町村自治体への事前調査と、
この会議に集まる、日本全国、および工芸の先進事例をもつ
石川・金沢の工芸有識者が集まることで成功例、失敗例を共有していきます。

❶ 地元の応援団、特別な語り部をどう増やすかの作戦を出し合う
❷ ものからことへ、理解を促すための工芸体感の事例
❸ 求められる工芸英語化、一方で困惑を招く
同一単語の「バラバラ」な英訳を解消するには?
❹ 工房に「来過ぎ」問題の対応策の提案

▼

工芸を活性化し、100年後の工芸につながる方策を考えていきます。

▼

石川・金沢提言へ

「100年後に残る工芸のために」

Programme

13:00-13:10　開会の挨拶

13:10-13:20　円卓会議 京都・東京を振り返る動画 | 10分

13:20-14:50　円卓会議 会場への3つの問い | 90分
ファシリテーター：京都大学総合博物館 塩瀬隆之 准教授

14:50-15:20　休憩 | 30分
記入用紙回収、集計

15:20-16:10　石川・金沢参加団体発表 2017成果共有 | 50分

16:10-16:30　レビュー── 会場からの答え | 20分
京都大学総合博物館 塩瀬隆之 准教授

16:30-16:40　第3回 石川・金沢提言発表 | 10分
石川県立美術館 嶋崎丞 館長

16:40-17:00　より広範なオールジャパン工芸連携、
そして世界に向けて | 20分
ザ・クリエイション・オブ・ジャパン 林田英樹 代表理事

円卓会議

ファシリテーター／京都大学総合博物館
塩瀬隆之准教授

しおせ・たかゆき／京都大学総合博物館准教授
京都大学工学部卒業。熟練技能伝承のシステム化研究で博士（工学）。京都大学情報学研究科助教、経済産業省産業技術環境局課長補佐（技術戦略担当）を経て現職。「伝わるとは何か」というコミュニケーションの本質を探究。

石川・金沢提言発表

石川県立美術館
嶋崎　丞館長

しまさき・すすむ／石川県立美術館館長
石川県生まれ。九州大学大学院文学研究科国史学専攻修士課程修了。1959年石川県美術館職員となる。1980年石川県立美術館開設準備室長として尽力、同館副館長、1991年館長に就任。石川県七尾美術館館長を兼任する。また、文化審議会専門委員をはじめ、各種委員会の委員を歴任。

工芸連携、世界に

ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
林田英樹代表理事

はやしだ・ひでき／元文化庁長官、一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン代表理事、日本工芸会 理事長
京都大学法学部卒業。文化庁次長、文部省学術国際局長を経て、文化庁長官に就任。退官後、国立科学博物館長、東宮侍従長を歴任、東宮大夫、国立新美術館長を歴任。